

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所
第 16 期(2015 年 7 月～2016 年 6 月)通常総会
議案書

- ・第1号議案 第15期(2014年7月～2015年6月)事業報告
- ・第2号議案 第15期(2014年7月～2015年6月)決算報告
- ・第3号議案 第16期(2015年7月～2016年6月)事業計画
- ・第4号議案 第16期(2015年7月～2016年6月)予算
- ・第5号議案 役員改選

日時:2015年8月9日(日)15:00～16:30

場所:はまどま(横浜市南区宿町2-40-119)

第1号議案 第15期事業報告（2014年7月～2015年6月）

第15期は、定例活動を中心に展開した。このため、新たな取り組みを中心に今期の事業を振り返る。

まず、ヤマ事業の「NORAの山仕事」では、森林・山村多面的機能発揮対策交付金を獲得し、プロジェクトリーダーや作業員へ謝金を支払うことができるようになり、収支構造の改善を図ることができた。この交付金を得られる期間に、「森の中で憩える空間づくり」を進め、多様な人びとから人的・金銭的に支援される森づくりを目指したい。また、同様に助成金（神奈川県水源環境保全・再生市民事業支援補助金）収入のある「竹を活かす山仕事」「もったいないから竹細工」も、活動を安定して継続できている。特に「もったいないから竹細工」は、一昨年から増加傾向にあった参加者の数がさらに増え、竹かご教室には、毎回、定員を上回る希望者から申し込みがある。外部資金を得られるこの安定期に、自立的な運営ができるような仕組みづくりを考えたい。一方、「よこはま里山レンジャーズ」は、外部資金を獲得できないと自立的に運営できないので、レンジャーズ派遣の調整を有償で請け負うほか、里山保全を担う若者リーダーの育成については、行政と協働して取り組むことなどを推進したい。

ノラ事業の「森と畑と音楽と」は2期目を迎え、学生のリピーターを巻き込みつつ、管理に追われない工夫をして、軌道に乗ってきた。今後は、NORAの広報媒体を生かしつつ、情報発信に努めたい。また、農地や農業についての学習、生産者との対話・交流の機会を増やしていきたい。

ムラ事業の「はまどま」プロジェクトでは、既述のとおり「もったいないから竹細工」が堅調であるが、ほかのプロジェクトは参加者数が伸びていない。しかし、「NORAの部活動」を通して、「はまどま」の運営を支える会員が徐々に増えてきているので、あらためて企画内容を検討するとともに、広報にも力を入れて、多くの参加者が得られるように工夫したい。また、平日にスタッフがほぼ常駐できる体制となっているので、今期おこなった利用既定の変更に加えて、このメリットをより強く打ち出すことが必要である。くわえて、地域との連携は深まっているが、これをNORAの活動とどのように有機的に結びつけていくのかを検討することが求められよう。

イキモノ事業としては、「トンボはドコまで飛ぶかフォーラム」に加入したことにより、森里川海の間で連携しやすい環境が整いつつある。里山を人と自然が交差する場と捉えれば、ライフスタイルを豊かにするとともに、生物多様性を守ることに力を入れていきたい。

広報事業では、ソーシャルメディアでの情報発信は活発だったのに対して、ウェブサイトの更新は滞りがちだった。2015年8月には、サイトのリニューアルを予定しているので、あわせて広報媒体の使い分けを再検討したい。

受託事業は、当初計画でかなり減少すると予想していたが、予想以上に少額の事業を受託でき、これが収益性を高めて、全体の黒字に繋がった。第10期頃から、予算規模を小さくして、収支バランスを図ってきたが、今期もこの均衡が保たれたかたちとなった。しかし、全体の収支構造上、受託事業収入に依存している度合いは依然として大きい。自主事業の内容をよく検討して、NORAらしさを生かしつつ、社会的なニーズを満たすことで収益性を高めたい。また、会員収入の増加に努めるために、イベントに繰り返し参加しているリピーター会友に対しては、積極的に入会を勧めていきたい。

最後に、社会の里山に対する注目は高く、地産地消、リサイクル、手仕事、発酵食品などが見直されており、若者の農山村志向も高まっている。こうした時代ではあるが、里山保全における市民の力は相変わらず低く見られている。むしろ、10～20年前に比べて、里山保全NPOの置かれている環境は悪化している面もある。今後は、人と自然のあり方を考えながら、「里山とかかわる暮らし」を着実に広げつつ政策提言に力をいれることで、身近な環境や社会を自分たちの手で作る動きを進めていきたい。

自主事業

里山（樹林地や農地等）の保全・活用、里山と人をつなぐ活動

1. ヤマ事業

1) NORAの山仕事（平成26-27年度林野庁森林・山村多面的機能発揮対策交付金）

川井特別緑地保全地区（旭区下川井町）をフィールドに、「利用する森」をコンセプトにして、手入れによって豊かな森をつくとともに、森の恵みを様々なかたちで利用して、森とかかわる暮らしを横浜で実践する活動をおこなっている。毎月第2・第4日曜日の定例活動日に作業を実施した。

第15期は、活動に関わるメンバー間で協議した結果、間伐作業は行わず、蓄積された間伐材を製材したり薪材へ加工したりするなど、材の有効活用に努めた。また、薪置場を設置するなど、新たな材の保管方法を試みている。年間のべ参加人数は290名（昨期223名）であり、横浜建物協同組合、県立旭高校、東洋ガラス機械株式会社など、企業や地域との連携も継続して行うことができた。新治里山交流センターから、間伐および材の搬出作業を請け負うことができ、収益面でプラスとなった

第16期では、間伐材を活用し、「森の中で憩える空間づくり」に取り組むなど、多種多様な参加者にとって、身近で関わりやすい森づくりを目標とする。また、企業の参加誘致やリピーター率の向上、および収益率の改善も継続していきたい。

実施日	活動内容	参加者	スタッフ
7/13（日）	物置補修、林縁部草取り	9	1
7/27（日）	物置補修、林縁部草取り	8	1
8/10（日）	中止（台風のため）	0	1
8/31（日）	下草刈り、林縁部・外周草刈り、遊歩道チップ敷き、測量	11	1
9/3（日）	下草刈り [横浜建物協同組合 8名]	8	1
9/14（日）	ミルマップ研修、ミーティング ※夜に懇親会	15	1
9/28（日）	間伐材の搬出入 [にいほる里山交流センター]、石釜解体、休憩エリア草刈り、園路チップ敷き	11	1
10/12（日）	石釜組み立て、チップ敷き、林縁部草刈り、薪割り	9	1
10/26（日）	外周道路落葉清掃、薪割り、遊歩道チップ敷き、林内散策調査	8	1
11/9（日）	薪割り、薪材玉切り、風倒枝処理	7	1
11/23（日）	遊歩道チップ敷き、林縁部草刈り、薪割り	12	1
12/14（日）	民有地草刈 [旭高校教員・PTA10名、東洋ガラス機械2名]	20	1
12/28（日）	櫻井邸外周道路沿い草刈り、境界杭調査	10	1
1/11（日）	植林地草刈り	9	1
1/25（日）	植林地草刈り、丸太皮むき [レンジャーズ受入]	23	1
2/8（日）	植林地下草刈り	11	1
2/22（日）	植林地下草刈り、櫻井邸下草刈り	10	1
3/8（日）	植林地間伐材片づけ、下草刈り、チップ敷き	12	1
3/22（日）	植林地間伐材片づけ、搬出	12	1
4/12（日）	植林地間伐材搬出、焼き丸太作り、薪割り	12	1

4/26 (日)	苗床草刈り、薪割り	13	1
5/10 (日)	クヌギ&自然薯苗の定植、桜井邸間伐材搬出	10	1
5/24 (日)	苗場草取り、薪割り、物置整理	4	1
6/14 (日)	薪材玉切り、薪割り、貯水槽基礎補修、WD 施工打合せ	12	1
6/28 (日)	植生調査、苗場下草刈り、WD 遣り方出し	9	1

265

25

2) よこはま里山レンジャーズ (連携：認定 NPO 法人自然環境復元協会)

本事業は、平成 24 年度に横浜市「みどりの夢かなえます事業」の助成を受け、認定 NPO 法人自然環境復元協会 (NAREC) との連携プロジェクトとして開始したもので、里山保全活動を始めようとする主に若い世代が、市内の活動に参加する支援システムとして整備されている。NAREC の「レンジャーズプロジェクト」に登録したレンジャーが、各フィールドからの出動要請に基づいて保全活動に参加するもので、概ね 10 名程度で参加するため、初めてでも参加しやすいという長所がある。

3 期目を迎えた第 15 期は、おもに NORA 関係者と関わりの深い市内 5 か所をフィールドに選定し、7 回実施して、のべ 88 名(昨期 14 回実施、153 名参加)の参加があった。参加者は初心者が多いが、山仕事に将来関わっていくために参加する者も見られ、今後、こうしたプロジェクトの必要性が高まると期待できる。ただし、NAREC との役割分担が不明瞭なところもあり、今後発展に向けての議論が必要である。また、次期の活動では、レンジャーズを引率するリーダーの育成を進めていく予定である。

一方、指定管理者が運営している公園等では、レンジャーズを派遣する際に有償で請け負うことを昨期より実施しているが、昨期から運営体制が変わったところもあり、今期は NPO 法人新治里山「わ」を広げる会の 1 団体にとどまった。今後も、収益性を改善するために、指定管理者等への働きかけを行っていく必要がある。

回	実施日	実施場所	受入団体	参加者
1	8/2 (土)	新治の谷戸田	NPO 法人新治里山「わ」を広げる会	18
2	9/14 (日)	瀬上市民の森	瀬上さとやまのりの会	8
3	11/23 (日)	恩田の谷戸	恩田の谷戸ファンクラブ	12
4	11/29 (土)	瀬上市民の森	瀬上さとやまのりの会	8
5	1/25 (日)	川井緑地	NPO 法人よこはま里山研究所	10
6	3/21 (土)	桜ヶ丘緑地	桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト	18
7	5/23 (土)	新治の谷戸田	NPO 法人新治里山「わ」を広げる会	22

88

3) 竹を活かす山仕事 (平成 26-27 年度神奈川県水源環境保全・再生市民事業支援補助金)

手入れが行き届かなくなった竹林は拡大して、農耕地や生活環境を侵食するなど、里山の景観に大きな影響を及ぼしている。竹林を手入れすることで畑を守り、里山生態系のバランスを保つために、原則月 1 回、中井町でお世話になっている農家の竹林を整備した。第 15 期も「神奈川県水源環境保全・再生市民事業」として補助金を獲得し、安定して活動を継続できた。その効果として、参加メンバーの定着化がみられ、のべ参加人数は昨期 36 名に比べて 2 倍近い 67 名へと大きく増加した。

実施日	活動内容	参加者	スタッフ
7/20 (日)	材の伐り出し、間伐	6	1
10/16 (木)	材の伐り出し、間伐	2	1
11/16 (日)	材の伐り出し、間伐、竹材搬入	6	1
12/21 (日)	材の伐り出し、間伐	6	1
1/18 (日)	材の伐り出し、間伐	6	1
2/15 (日)	材の伐り出し、間伐	6	1
3/15 (日)	材の伐り出し、間伐	7	1
4/25 (土)	筍堀り、孟宗竹整理、材の伐り出し	6	1
5/17 (日)	材の伐り出し 間伐	7	0
6/21 (日)	材の伐り出し 間伐	6	1

58 9

※昨期に続き、8月と9月は酷暑のため活動は休止とした。

4) 山道具の安全使用

株式会社シンコー社とサブ店契約を締結（2011年6月）してから、チェーンソーメーカー（スチール STIHL）の代理店業務を担い、より安全性を高めた緑地保全活動用の機材使用の啓発をすすめている。

第15期は関連する森林整備実施団体やヤマ仕事の参加者などへ良質なチェーンソーを市価より安く販売するとともに、チェーンソーのオーバーホール、バイオチェーンオイルや安全チャプスなど環境と安全に配慮した物品類を供給することができた。

実績としては、チェーンソー2台、刈り払い機1台、発電機1台、トング・安全チャプス・ソーチェーン・チェーンオイル等を販売。チェーンソー2台、耕運機1台のオーバーホールを扱った。

2. ノラ事業

1) 森と畑と音楽と

丹沢東麓に位置する厚木市の里山における活動で、2013年秋、若い世代でこの場所を活用できないかとの相談を受け、2014年から手探りでスタートした。活動の目的は農地管理が第一だが、参加者を増やすために様々な仕掛けが必要となる。そこで、「自然の中での様々な活動を通じて、幅広い年齢層、異分野の人々が集い、有機的に結びつく空間の創造」を目標として、この土地に多くの人が関心を持ち、活動に来ることが楽しいと思える活動を行い、長期的に関われるシステムをつくりたい。

第15期は、昨期の活動の延長として環境整備を中心に活動を行った。栽培に関しては、畝を明確にし、36区画に区割りした。草取りや草刈りに時間を費やしたが、昨期以上にマルチを多用し、管理面での負担の軽減を図った。フィールドでは、横の森との境にある溝（昔の用水路跡）のササや灌木を手入れし、人が中に入れるようにした。鉄くずなどのゴミが見つかったので、処理をしている。活動日はのべ77日で、のべ参加人数は320名（昨期101名）となった。昨期20日のおよそ2.5倍の活動日数となったが、これはイベントのための整備等に時間を費やしたためである。

今期は中学生や大学生、家族など参加者の多様化が見られた。昨期の反省をもとに、学生に積極的に関わってもらうこと、維持管理の工夫をして作業に追われないようにすることは達成されつつある。地元大学生のリピーターが増えたので、今後は大学のサークルなどと連携して継続的に参加する仕組みを

つくりたい。また、日常の管理に携わるスタッフが生まれる仕組みも合わせてつくっていききたい。一方で、中核メンバー（特に音楽担当）2人が同時に海外へ旅立ったため、今年度は活動の柱の一つである「音楽」がほぼ活動できなかつたのが現状である。今後は音楽の活動を増やしていきたい。

実施日		活動内容	参加人数
7月	5(土) 20(日) 21(月) 22(火) 25(金) 26(土) 27(日) 30(水) 31(木)	草刈り、草取り、物置テント屋根の補強、倒木処理、小屋修繕、石畳み作り、物置テント片づけ、デッキ作り(完成)、ウッドブロックの木道作り、防獣ネット張り、トイレ設置準備	22
8月	1(金) 2(土) 3(日) 5(火) 7(木) 8(金) 9(土) 10(日) 11(月) 13(火) 14(水) 15(木) 18(月) 19(火) 26(火) 27(水) 28(木) 31(日)	草むしり、水やり、播種、野菜苗植え、ネギの苗植え、支柱立て、クリの木の抜根、ウッドブロックの木道作り(完成)、薪置場作り、トイレ作り、川沿いのクズ除去、夜間照明設置、ゴミ処理、小屋の片づけ、小屋を掃き出し窓に変更、オーニング設置、ベンチ製作、8/13-15 子どもキャンプ受け入れ(48名)、子どもキャンプ片づけ、バーベキュー受け入れ、デッキの手すり設置、屋外用コンセント増設	117
9月	13(土) 15(月) 21(日) 27(土) 28(日)	草刈り、草むしり、播種、支柱立て、収穫、クリ拾い、小屋作り、燻製器作り	22
10月	4(土) 11(土) 19(日) 25(土)	収穫、播種、ネギの土寄せ、種採り	7
11月	2(日) 8(水) 15(土) 22(土) 23(日) 30(日)	草刈り、収穫、ローズマリー移植、サツマイモの蔓切り、種採り、畝作り、イモ掘り体験、伐採、11/15,22 収穫祭(28名)、ピザ作り	35
12月	7(日) 13(土) 14(日) 27(土) 28(日)	支柱直し、収穫、枝拾い、小屋の屋根・外壁のペンキ塗り、伐採、物置テントの片づけ	12
1月	1(木) 6(月) 18(土) 25(土)	降雪被害(防獣ネットの支柱)復旧、薪作り、収穫、焚きつけ用枝拾い、溝の草刈り	13
2月	2/15(日)	収穫	1
3月	7(土) 22(日) 27(金)	収穫、畝作り、キクイモ掘り、植樹、堆肥鋤込、畝立て、区画作り、マルチ張り、種イモ植え付け	25
4月	12(日) 19(日) 25(土) 26(日) 29(水)	播種、ネギ植え付け・サトイモ植え付け、草刈り、水やり、苗植え付け	5
5月	4(月) 5(火) 6(水) 8(金) 17(日) 24(日) 25(月) 30(土) 31(日)	播種、草刈り、草むしり、苗植え付け、水やり、虫退治、収穫、薪割り、5/30 中学生体験受け入れ(17名)、漬物作り、サツマイモ苗植え付け、ネギ植え付け、種採り	34
6月	1(月) 5(金) 6(土) 7(日) 13(土) 14(日) 17(水) 20(土) 21(日) 27(土) 28(日)	草刈り、草むしり、水やり、播種、苗植え付け、収穫、草刈り機修繕、6/14 家族収穫体験受け入れ(13名)、薪割り、漬物作り	27

持続可能な地域コミュニティづくり、暮らしの提案、イベントの企画・運営

3. ムラ事業

1) はまどまプロジェクト

「はまどま」発足後、2015年6月で丸7年が経過した。フリースペースとしての可能性は、様々な企画での使用で実績を積み、今後もあらたな企画、様々な催しに使われると思われる。地域の皆さんの暮らしに役立つ場としては、いまだ緒についた程度ではあるが、宮宿花1・2丁目町内会との交流と信頼関係は積み重ねられ、地域に役立つ企画を開催することで可能性が開けるだろう。

「里山の入り口」としてのはまどまの役割は、ひとりひとりの「はまどま」を大切にしたいと思う仲間たちの内にある思いを「里山から学ぶ」情報と共に発信することで、より明確になるものと思われる。かつてないほどの仲間の力を得て、充実した活動を展開しはじめた第15期の「はまどま」だった。今後は、さらに具体化できるように心がけたいと思う。

(1) NORA 野菜市

毎週火曜日 17時～19時大和ビル駐車場にて、神奈川県内・生産者限定の野菜市として開催して2015年暮れには丸11年になる。この間、福島第一原子力発電所の事故による放射線汚染という重大な被害を経て、今、TPP交渉の成り行き次第では、日本農業の崩壊という危機にある。国の農業政策は、あいかわらず規模の拡大だが、食糧自給率目標は45%に引き下げられ、実態は40%にも届かない。

安全・安心・作物の本来の栄養のある農産物の栽培方法は、「自然農法」というカテゴリーが最先端の栽培方法として脚光を浴びているが、従来の「有機栽培」「無農薬栽培」とは異なる考え方からスタートしている。自然の状態を大切にしようという考え方では、生産性や生産量の確保は難しい。

日常の食生活と向き合う日常の生産活動を通して、「命を大切にする」暮らし方を問い直したい。第15期は、次へのステップを考える初年度となったと思う。

(2) 神奈川野菜の食事会

第15期の食事会は、8回の開催でのべ103名（昨期164名）の参加者があった。約100回10年の食事会を継続してきた歳月をへて、生産者が確かで身近な作物を料理に使うことが、珍しくない状況が生まれている。それでは、「地産地消」は暮らしに定着したのか、日本の農業の未来に展望は開けているのかというと、担い手は減少、耕作放棄地は増える一方である。計画・準備・記録・情報発信という、一回の食事会に対して多くのエネルギーをかける取組みが仲間とともにできつつある。

回	実施日	内容	参加人数
89	8/31 (日)	麺と夏野菜の天ぷら	9
90	9/15 (月)	はまどま仕込みの味噌と南瓜&芋尽くし献立	8
91	12/6 (土)	大根たっぷりおでん、サツマイモ炊き込み飯	10
92	1/18 (日)	三浦大根煮、冬野菜の蒸籠蒸し	12
93	2/15 (日)	三浦わかめ尽くしの献立	22
94	3/23 (月)	遠藤ミホさんの季節の食卓～春	20
95	4/18 (土)	金沢区海の公園で採ったアサリの献立、筍飯	14
96	5/23 (土)	クリーニングデイ企画～新治と神奈川野菜	8

(3) もったいないから竹細工 (平成 26-27 年度神奈川県水源環境保全・再生市民事業支援補助金)

里山では手入れされなくなった竹林が生い茂って、邪魔物として扱われている。かつては有用だった竹を生かせないのはもったいない。そこで、竹林を整備するときに出てくる竹材を有効に生かすために、材を竹ひごに加工し、編み方を六つ目編みに特化して、花器や籠など様々な作品作りに取り組んでいる。

第 15 期では、竹かご教室に関わる修了期間を設け、修了者には工房作業へ移行して頂く試みを実施した。その結果、竹かご教室では新規参加者を受入れることができ、新たなメンバーの定着へと改善できている。工房作業では、参加者同士が課題を提供しあい、材料（竹ひご）作りから作品作りまで協力し合っている。竹ひごや、かご編みだけでなく、カトラリーなど竹材を用いた湯呑や食器づくりなども取り入れた。

竹かご教室にはのべ 135 名（昨期 82 名）、工房作業にはのべ 135 名（昨期 42 名）で合計 270 名（昨期 124 名）と、昨期に比べ倍以上の参加者を集めることができた。東京都、千葉県、静岡県など、他都県からの参加も多く見られた。竹かご教室には多くの方からの参加希望の連絡を頂いたが、各回定員 10 名としているためキャンセル待ちが増えている。このため、まずは工房作業への参加を促してから、竹かご教室への参加を優先的に受け付けるなど、対応策を興じている。

【竹かご教室】

実施日	活動内容	参加者	スタッフ
7/12 (土)	四海波、収穫かご、六つ目、花口	8	2
8/16 (土)	六つ目かご、収穫かご、四海波かご	9	2
9/13 (土)	水切りかご、収穫かご、六つ目かご	9	2
10/11 (土)	水切り、麻の葉、収穫かご	8	2
11/8 (土)	麻の葉、水切り、菱四つ目、収穫かご	10	2
12/6 (土)	麻の葉、水切り、菱四つ目、四海波	7	2
1/10 (土)	麻の葉、水切り、菱四つ目、六つ目	10	2
2/14 (土)	四海波、水切り、輪口編みなど	10	2
3/28 (土)	水切り、輪口、四海波、	10	2
4/25 (土)	四海波、水切りかごなど	10	2
5/9 (土)	四海波、菱四つ目、水切り	10	2
6/13 (土)	四海波、菱四つ目、六つ目丸口、水切りなど、	10	2

111

24

【竹細工工房】

実施日	活動内容	参加者	スタッフ
7/26 (土)	ひご作り、ざる部材作り	6	2
8/23 (土)	ひご作り、ざる作り	9	2
9/27 (土)	ざる仕上、銚づくり	5	2
10/19 (土)	道具製作	7	2

11/29 (土)	道具の使い方、ざる編み (網代編み)	10	2
12/27 (土)	ミニ門松づくり、湯呑づくり	11	1
1/24 (土)	湯呑づくり、竹ひご作り	15	1
2/28 (土)	湯呑、スプーン、バターナイフ、ひご作り	8	3
3/14 (土)	湯呑&スプーン作り、竹ひご作り	10	3
4/11 (土)	ヒゴ作り、スプーン作り	8	1
5/23 (土)	ひご作り、湯呑づくり	11	2
6/27 (土)	ひご作り、湯呑づくり	12	2

112 23

(4) 筆とお香 (←筆で描こう～手書きの時間)

第15期は2015年に入って、筆の開催がほとんどなかった。外部で呼ばれて教室開催が増えたのが原因。年末年始の年賀状、カレンダーづくりは参加者が多いので、今後はまどまでも開催したい。お香づくり講座は、2012年に筆の時間とのコラボから始め、3年が経過した。お香の本質は、植物の力を借りて自らを調えること。香原料の植物は漢方薬になる野草や、里山に生息する身近な山野草。最近、理事の方から譲っていただいたひのき等、里山の恵みから自分の手で香原料をつくり始めている。竹墨でのお香づくりはないかというお問い合わせをいただく事も出てきた。石の上にも三年。お香と里山との関わり方がようやく見えてきた。

実施日	内容	参加者	スタッフ
9/29 (月)	秋の筆文字&文香	3	2
10/1 (水)	コーン型お線香	1	1
10/2 (木)	塗香	1	1
10/12 (日)	秋に飾る筆文字を描く	1	1
10/17 (金)	早くも年賀状予行練習、コーン型お線香	4	2
10/21 (火)	はまどまオープンデイ、筆で羊を描こう 匂い袋と作ろう	7 5	1 1
11/23 (日)	年賀状を筆で描く 塗香	6 4	1 1
12/21 (日)	来年のカレンダー作り 来年に向けた香りを作る	2 1	1 1
2/7 (土)	コーン型お線香	1	1
5/21 (木)	コーン型お線香 描きたい文字を自由に描く	1 1	1 1
6/20 (土)	コーン型お線香	1	1
6/26 (金)	コーン型お線香	2	1

41 18

(5) はまどまで土間仕事

昨期から始めたプロジェクトで、第15期も各季節ごとに、貴重な神奈川県産農産物や、新しくつな

がることができた瀬谷の川口靴店さんの無農薬の麴、河辺千佳さんの神崎在来の無農薬の大豆など、素材は惜しみなく確実に美味しいものを使って1年間楽しむことができた。特に「醸女」と呼ぶ、醸し好きな女子が「はまどま」に集まり、土間仕事を盛り上げてくれた一面もあった。

発酵ブーム、手作りブームはまだ続いている。それが1年を経て生活の中に定着してきた感がある。その中でこの「土間仕事」は、参加人数が伸び悩むときもあるが1人でも多くの人と「手作り、手仕事」の楽しさ、美味しさを共有できたらと思う。

実施日	内 容	参加者	スタッフ
8/31 (日)	大豆の底力 (豆乳とおからを手作りで)	4	2
11/27 (木)	レモン塩麴を作ろう&ランチ会	7	3
2/3 (火)	キムチを作ろう	6	1
2/26 (木)	酵母で味噌作り	3	1
3/29 (日)	神崎在来大豆で無農薬麴で味噌作り	8	2
4/18 (土)	簡単塩麴を作ろう&塩麴のおやつ	2	1
6/14 (日)	らっきょ	2	2
6/27 (土)	梅シロップ、梅ジュース	1	2

27

11

(6) NORA サロン

今期も NORA メンバーのつながりで多彩な方々からの話題を提供していただいた。特に「大和ビル物語」や「南区界限にちゃんと農業があったころ」など、NORA の地元の話聞く貴重な時間だった。

実施日	内 容	話題提供者	参加人数
7/18(金)	自分たちの手で作って売った 30 年～大熊にこここ市	平野フキ	15
10/29(水)	ツアー活動から始まった地域交流の必然、そして“Y ターン”のススメ (よこはま川を考える会第 358 回定例会)	Choji	30
12/19(土)	大和ビル物語	斎藤その子	4
1/24 (土)	アイルランド☆アイルランド～リベンジ	川嶋朋美	12
5/10 (月)	南区界限にちゃんと農業があったころ	川嶋一平	8

69

(7) NORA の部活

参加人数は少なめであったが、開催を楽しみにしてくれるファンは増えた。季節の旬の素材とレシピの簡単さもあり、参加者には概ね好評。広報と参加者の結びつけを念頭に企画したい。

①内倉和子さんの「薬膳教室おさらい会」

薬膳料理は生薬が手に入りにくく家庭では無理と思われがちだが、スーパーで売っている食材で普段の食生活にすぐ取り入れることができる。また、美味しいし、和風や洋風にアレンジできるし、見た目もカラフルにできる。前菜、主菜、ご飯物、汁物、デザート、お茶、通常 5 品と飲み物付きの薬膳教室の内容を「はまどま」で振り返る。一緒におさらいに付き合ってくれる仲間を今後とも募集中。

実施日	内 容	参加者	スタッフ
9/28 (日)	初秋の薬膳 (夏の疲れを癒す)	3	3

11/30 (日)	秋の薬膳 (肌に良い薬膳)	2	3
2/22 (日)	冬の薬膳 (腎を養い乾燥予防)	4	3
5/24 (日)	冬の薬膳 (ストレスに良い薬膳)	2	3
		11	12

②山本美香さんの「季節の素材でスイーツづくり」

神奈川の野菜と果物を素材にしたスイーツ作りは、出来るだけシンプルに、参加者に農家と三好さんの想いが伝わるようにメニューを考案、開催とつなげてきた。スイーツと題しているが、夕方からの野菜市との兼ね合いでお腹にたまるメニューも入り、毎回満足していただいている様子。今後は参加人数が増えていくように内容、集客方法をみつけていくことが課題である。

実施日	内容	参加者	スタッフ
11/9 (火)	秋・冬編 (スイートポテト、柿のタルト)	4	3
1/20 (火)	冬編 (ガトーショコラ)	5	2
3/10 (火)	春編 (苺ロールケーキ、小松菜カレー)	2	1
6/23 (火)	初夏編(ズッキーニピザ、キウイタルト)	2	1
		7	4

②クリーニングデイ

クリーニングデイとは、フィンランドで、2012年から年2回(5月4週目・8月最終週の土曜日)開催されているリサイクル・カルチャー・イベント。この日に合わせて、横浜の森や谷戸、野菜、仲間の活動に触れ、美味しい時間を過ごした。先人たちから丁寧につながってきた自然の営みに生かされると実感できる一日となった。欲張りな内容で告知が伝わりにくかった感もあるが、関心を寄せてくださる方や新たに生まれたアイデアを大切に、次の機会につなげていきたい。

実施日	内容	参加者	スタッフ
5/23 (土)	クリーニングデイ参加企画～第96回神奈川県野菜の食事会と新治市民の森	6	3
		6	3

(8) 地域連携・その他

- ・10/25(土)、26(日)東京湾大感謝祭@赤レンガ倉庫に三好参加。
- ・11/19(水)、クリーニングデイにならない、「やさしさと、やさしさを交換する会」と題してプレイベント的に開催。
- ・宮宿花1・2丁目町内会から「蒔田歴史かるた」の作成を依頼され、イラストを勝野が、作成委員に三好、島村が参加。10/19(日)の第1回会議から数回の打合せ、ラフ出しを重ね、2014年内にすべての札を完成。1/10(土)、浦船福祉総合センターで初お披露目。子どもたちと正月の懐かしい遊びをする企画の中で、大人はかるた取り大会。その後、子ども会や老人会等のレクリエーションで使われている。また、『タウンニュース』(2015年1月22日号)に、かるたの完成が掲載された。
- ・11/13(金)、井土ヶ谷「カフェククル」主催「つむぐ市」に「はまどま」として参加。
- ・11/24(月・祝)、反町駅前カフェに「はまどま」として参加。ホットレモネード、ミカンジュース、

野菜等を販売。

- ・12/28(日)、蒔田エコサロンを使って福島キッズの受け入れ。焼き芋の芋やうどんの具材の野菜を提供。民話の語りでも協力。
- ・12/13(土)-14(日)蒔田公園にて「光のぷろむなあど」開催。13日は「光の七夕」と題して夜の大岡川沿いに笹を立て、そこに手描きで願いごとを描いてもらった(スタッフ4名)。14日は神奈川野菜のカレーと神奈川米のごはんを販売(スタッフ10名)。
- ・2月から「はまどま」来訪者のための雑記帳「宿帳(しゅくちょう)」を置いた。
- ・6/7(日)、蒔田公園ふれあいパーク祭りに参加。神奈川野菜のスープカレーと神奈川米のライス。
- ・6/29(月)、郷映ラボとの共催で、『奄美の豊年祭り』『奄美の泥染め』『茂庭の暮らし』の3本上映。参加者10名。神奈川野菜の食事付き。
- ・7/26(土)、田んぼオブザワールド田んぼ in 筒香でNORAが協力団体に。2015年の田んぼオブザワールド実行委員会 in 筒香にはNORAも参加。実行委員会として、和歌山県から20万円の助成金を得た。
- ・はまどま利用規定を改定。2時間以内500円、8時間以内1,000円。10~18時の島村在勤日で。

2) まいたエコサロンの会

地域の環境活動拠点として横浜市と構成団体が協働して運営に関わっているが、NORAとしては「はまどま」の活用の優先順位が高く、第15期は会合にも参加できず、ほとんど活動しなかった。

4. ハレ事業

1) 伊勢佐木町地モノ市

2014年11月3日(月・祝)「第14回あなたとともにエコロジー伊勢佐木」に参加。エコ商店街・伊勢佐木町商店街の全面的なバックアップを得て「地モノ市」を開催した。前日準備に10名、当日スタッフに16名が参加した。晴天にも恵まれ多くの来店者があり賑わった。参加団体の武松商事の豚汁用に野菜を提供し好評を得た。

里山の生物-文化の多様性保全に資する普及啓発、情報発信

5. イキモノ事業

1) 旬の里山探訪

NPO法人新治里山「わ」を広げる会/新治里山公園運営プロジェクトが「にいほる里山交流センター」で実施しているイベントへ広報協力する形でおこなっている。実施主体は上記プロジェクトの自然観察/IP部会。第14期は10回計画して9回開催し(1回は雨天中止)、のべ198人(昨期は8回148人)の参加者数となった。今期はほぼ20名を超え盛況となっている。

実施日	内容	参加者	スタッフ
7/2(水)	夏の花観察	27	2
9/3(水)	秋の七草・新治バージョン	19	2
10/1(水)	里の秋~なんちゃってハイ旬	20	2
11/5(水)	木の実・草の実	20	2
12/3(水)	落ち葉あそび	17	2
2/4(水)	春の七草を探そう	20	2
3/4(水)	早春の芽生えを探そう	23	2
4/1(水)	里の春を楽しもう	21	2

5/6(水)	新緑～花とちょうちよたち	31	3
6/3(水)	初夏の花かんさつ	雨天中止	
		198	19

2) トンボはどこまで飛ぶかフォーラム

トンボはドコまで飛ぶかフォーラムは、京浜臨海部における生物多様性に配慮した緑の質の向上を目的に、立地企業、市民活動団体、行政、専門家がそれぞれの立場で参加するフォーラムであり、2003年から活動を開始している。フォーラムの調査によって、企業緑地が里山的役割を担っていることが明確になり、参加団体に対してレンジャーズの派遣を行ってきたことなどから、2015年1月からフォーラムに参加した。参加後日が浅いため、15期は具体的な活動への参加はないが、今後レンジャーズの派遣や調査活動等への参加を行っていく。

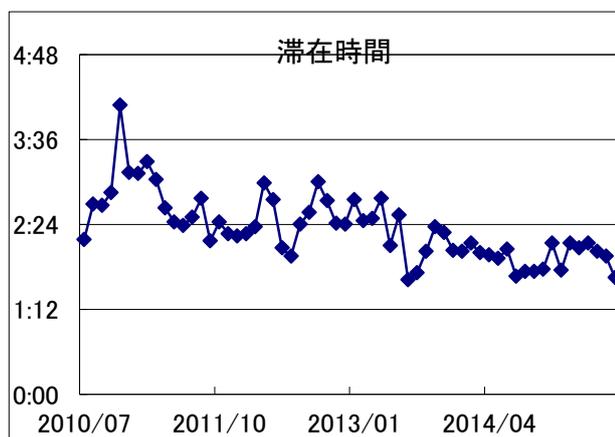
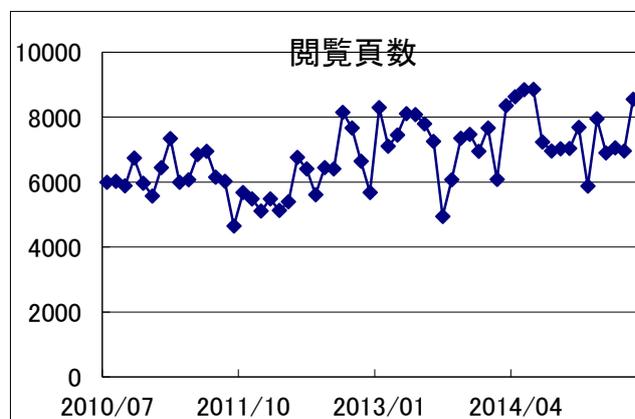
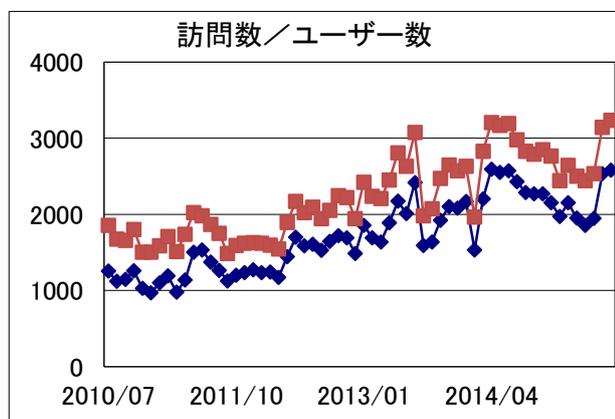
6. 広報事業

1) ウェブサイトの更新

第15期も、各プロジェクトの告知、報告記事のアップなど情報発信を定期的におこなった。しかし、ソーシャルメディアにとの役割分担が不徹底で、新しいページの更新が滞りがちである。

1年を通してのアクセス数は、訪問数が月平均2,762(昨期2,650)、閲覧頁数7,297(昨期7,371)と、昨期と比べてほとんど変わらなかったが、滞在時間は1:53(昨期2:00)、直帰率は65.7%(63.6%)と数値が下がっており、訪問者数を維持しているが、実質的な情報発信力は落ちている。

なお、現在使用しているブログソフトウェアを変える必要が生じたので、ドメインを移行し、レイアウトの全面変更の準備を進めた。2015年8月にリニューアルして公開する予定である。

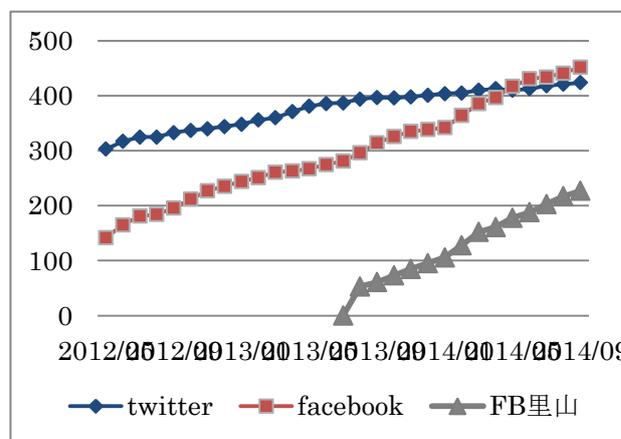
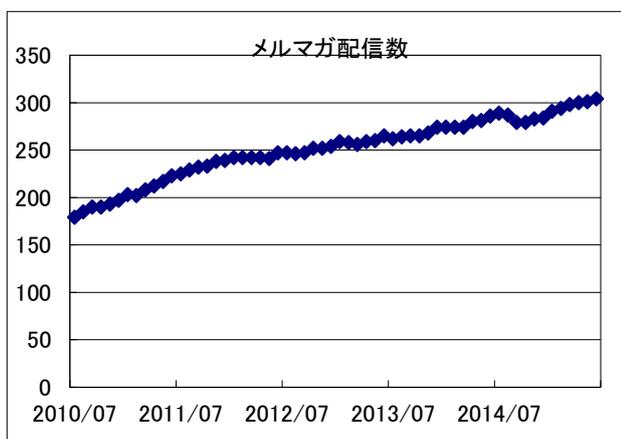


2) 「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」配信

「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」第 74～85 号を毎月配信した。メルマガは、会員には会員メーリングリスト経由で、事務局が把握している会友・関係者（1,001→1,121→1,240、各年 6 月現在）には直接メールで配信している。また、メルマガ発行サービス「まぐまぐ！」でも配信しているが、読者数は微増（265→286→304、各年 6 月現在）。配信予定は毎月 1 日だが、遅配の常態化が課題である。

3) ソーシャルメディアによる情報発信

twitter を利用して情報を発信し、フォロワーは増加しているが（337→396→427、各年 6 月現在）、ツイート数が減少している。むしろ、facebook での情報発信に努め、「いいね！」の数を順調に増やした（212→326→475、各年 6 月現在）。また、2014 年 4 月に立ち上げた facebook グループ「里山とかかわる暮らしを」では、それぞれのかかわり方を facebook に投稿・シェアして、里山とかかわる暮らしの普及を図っている。今期末のメンバー数は 235（昨期末 73）で着実に増えている。



協働・受託事業

里山に関する調査研究・コンサルティング・人材育成・講師派遣等

1) 桜ヶ丘緑地における保全管理計画づくり（桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト）

保土ヶ谷区桜ヶ丘緑地の保全管理計画づくりのワークショップとゾーニング図の作成。2015 年 5 月に再度現状把握を行い、6 月に会員とともに摺合せを行った。ようやく提出することができた。

2) 里山ガイドブック制作（有隣堂）

有隣堂が直営で企画している「かながわ里山ガイドブック」について、原稿書きの進行中。ようやく 2015 年度中に発刊できるかもしれない。

3) 都筑農業ボランティアの会勉強会（委託者：横浜市都筑区）

〈実施期間：2014 年 12 月-2015 年 3 月〉

平成 25 年度から都筑区との協働事業として、自主運営により区内農家への援農活動や区内の地産地消の推進を行うことを目的に活動している「都筑農業ボランティアの会」に対し、自主的に活動していくにあたって必要なノウハウ等を学び、平成 28 年度以降、財政的に自立化した組織運営を可能にしていくための勉強会を開催。27 年度中に、組織体制等の見直しを自主的に図ることとなった。

4) インタープリター養成講座 コーディネート (委託者：景デザイン(株)／自然教育研究センター／みどりアップ推進課) <実施期間：2014年6～11月>

横浜市で初の本講座(全8回)。全体の企画アドバイス及び8回を通してコーディネーターを務めた。前期は多様な講師から自然の見方を学び、後期はインタープリテーションの方法等を学んで、グループに分かれ実践した。来期はフォローアップが行われる。

5) 横浜・森づくりボランティア養成講座 コーディネート (委託者：U-Landscape Design 株式会社／横浜市環境活動支援センター) <実施期間：2014年10～11月>

横浜市の「森づくりボランティア養成講座」(初心者向け、3日間、会場：にいほる里山交流センター)で開催。企画立案の手伝い、基調講演、交流会進行等を行った。

6) 上郷市民の森保全管理計画策定 コーディネート (委託者：景デザイン(株)／みどりアップ推進課) <実施期間：2014年9月～2015年2月>

横浜市栄区の上郷市民の森において、横浜市関係部署、市民の森愛護会、上郷森の会(森ボラ登録団体)、利用者であるボーイスカウト代表らとともに、保全管理計画づくりを行った(全4回)。全体のコーディネーターを務めた。

7) 横浜みどりアップ計画 樹林地関連の5年間ロードマップ作成コーディネーター (委託者：景デザイン(株)／みどりアップ推進課) <実施期間：2014年12月～2015年3月>

横浜みどりアップ計画第2期(平成26年度～30年度)の3本柱のひとつ「樹林地を守る」施策について、第1期を踏まえての事業整理と目標設定案を作成する作業チームのコーディネーター役を務めた。

8) 神奈川県里地里山条例に基づく総括アドバイザー (神奈川県 農地保全課)

相模原・小松城北地区、平塚・土屋地区、秦野・菩提地区、藤沢・石川丸山地区の4か所について現状把握及び課題について意見交換を行い、随時対応策等について検討した。

委員・講師派遣等

1) 委員

○吉武美保子

- ・神奈川県環境農政局公共事業評価委員会
- ・神奈川県自然環境保全審議会自然保護部会
- ・神奈川県立旭高校評議員
- ・横浜市地域まちづくり推進委員会表彰部会(横浜・ひと・まち・デザイン賞地域まちづくり部門)

○松村正治

- ・横浜市市民協働推進委員会

2) 講師・執筆

○吉武美保子

- ・11/14（金） 横浜市大エクステンションスクール エコスクール「里山のある都市・横浜」
- ・12/6（土） ちば里山カレッジ「次世代リーダー養成コース」にて「新たな公共を担う市民活動」
- ・1/24（土） かながわり山里山シンポジウム（主催：神奈川県）でコーディネーター
- ・1/31（土） 秦野市里山活動協議会フォーラム「里山里山の活動をつなぐ・つなげる」
- ・2/11（水祝）横浜市森づくりボランティア橋渡し検討会議／コーディネーター
- ・6/10（水） 世田谷トラストまちづくり「里山の暮らしと食の文化」

○島村雅英

横浜市環境創造局出前講座「ビオトープで小さな生態系を感じてみよう～学校で小さな生態系を感じてみよう」

実施日	内容		学年等	人数
11/13(木)	中田小学校	ビオトープの保全管理	6年	34
11/18(火)	本牧南小学校	ビオトープの管理、役割	4年	27
11/19(水)	幸ヶ谷小学校	ビオトープの作り方	4年	35
6/8(月)	斉藤分小学校	生きもの観察	4年	23
6/12(金)	永田台小学校	ビオトープの管理、生きもの調査	環境委員会	20

129

○松村正治

- ・11/30（日） 地域の水保全シンポジウム 2014 in 沖縄@那覇（主催：NAREC）講師およびパネリスト
- ・12/7（土） 地元の水ワークショップ@拓大（主催：NAREC）話題提供およびパネリスト
- ・堀芳枝編『学生のためのピース・ノート2』（コモンズ、2015年）に、「里山の遺産を活かしたコミュニティの可能性」を寄稿。

○三好豊

- ・季刊地域情報誌『ほのぼの』にエッセイ「身近な生産者とともに育む～神奈川の風土」を連載

3) そのほか

[取材・広報など]

- ・11/3（月祝）雑誌『台湾経典』の取材対応。
- ・パルシステム神奈川ゆめコープからの依頼により、市民活動応援プログラムの助成団体として、NORAの活動が組合員情報誌『weekly どリーむぺいじ』（6/8-15）を掲載された。
- ・『環境ボランティア・なび 2015』（関東EPO）にボランティア募集記事を掲載。

活動計算書

(税込) (単位:円)

特定非営利活動法人よこはま里山研究所

自 2014年 7月 1日 至 2015年 6月30日

【経常収益】		
【受取会費】		
運営会員受取会費	168,000	
一般会員受取会費	145,000	
賛助会員受取会費	20,000	333,000
【受取寄付金】		
受取寄付金		1,528,519
【受取助成金等】		
受取助成金		1,657,271
【事業収益】		
自主事業収益	694,114	
販売事業収益	365,381	
受託事業収益	831,240	1,890,735
【その他収益】		
受取利息	980	
雑収益	65,526	66,506
経常収益計		5,476,031
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
業務委託費(事業)	1,368,023	
諸謝金(事業)	1,379,837	
通信運搬費(事業)	17,580	
消耗品費(事業)	286,000	
修繕費(事業)	36,992	
減価償却費(事業)	102,669	
保険料(事業)	103,015	
調査研究費(事業)	3,678	
支払手数料(事業)	4,198	
販売仕入(事業)	315,889	
その他経費計	3,617,881	
事業費計		3,617,881
【管理費】		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
通信運搬費	81,188	
消耗品費	32,400	
水道光熱費	138,471	
地代家賃	972,700	
諸会費	18,400	
慶弔費	21,600	
租税公課	189	
県民税利子割	(44)	
復興特別源泉税	(1)	
国税源泉所得税	(144)	
支払手数料	30,330	
支払寄付金	500	
雑費	578	
その他経費計	1,296,356	
管理費計		1,296,356
経常費用計		4,914,237
当期経常増減額		561,794
【経常外収益】		
経常外収益計		0
【経常外費用】		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		561,794
法人税、住民税及び事業税		70,000
当期正味財産増減額		491,794
前期繰越正味財産額		6,880,112
次期繰越正味財産額		7,371,906

貸借対照表

特定非営利活動法人よこはま里山研究所
全事業所

(税込) (単位:円)

2015年 6月30日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未払費用	71,852
小口 現金	339,812	預 り 金	27,782
普通 預金	6,579,799	納税充当金	70,000
現金・預金 計	6,919,611	流動負債 計	169,634
(その他流動資産)		負債合計	169,634
前払 費用	81,000	正 味 財 産 の 部	
その他流動資産 計	81,000	【正味財産】	
流動資産合計	7,000,611	前期繰越正味財産額	6,880,112
【固定資産】		当期正味財産増減額	491,794
(有形固定資産)		正味財産 計	7,371,906
機械及び装置	225,349	正味財産合計	7,371,906
有形固定資産 計	225,349		
(無形固定資産)			
電話加入権	89,880		
無形固定資産 計	89,880		
(投資その他の資産)			
敷 金	225,700		
投資その他の資産 計	225,700		
固定資産合計	540,929		
資産合計	7,541,540	負債及び正味財産合計	7,541,540

財 産 目 録

特定非営利活動法人よこはま里山研究所
全事業所

(税込) (単位:円)
2015年 6月30日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

小口 現金		339,812	
小口現金 (吉武)		(93,680)	
小口現金 (ヤマ)		(13,828)	
小口現金 (島村)		(3,426)	
小口現金 (どま)		(45,100)	
小口現金 (ノラ)		(19,087)	
小口現金 (鈴木)		(164,691)	
普通 預金		6,579,799	
横浜銀行本郷台支店 (本部)		(4,090,404)	
横浜銀行上大岡支店 (吉武)		(398,276)	
横浜銀行阪東橋支店 (ヤマ)		(451,719)	
横浜銀行阪東橋支店 (島村)		(454,633)	
ゆうちょ銀行宿町 (どま)		(62,205)	
ゆうちょ銀行振替(本部)		(1,122,562)	
ゆうちょ銀行振替(林野庁)		(0)	
現金・預金 計		6,919,611	

(その他流動資産)

前払 費用		81,000	
その他流動資産 計		81,000	

流動資産合計

7,000,611

【固定資産】

(有形固定資産)

機械及び装置		225,349	
有形固定資産 計		225,349	

(無形固定資産)

電話加入権		89,880	
無形固定資産 計		89,880	

(投資その他の資産)

敷 金		225,700	
投資その他の資産 計		225,700	

固定資産合計

540,929

資産の部 合計

7,541,540

《負債の部》

【流動負債】

未払費用		71,852	
預 り 金		27,782	
源泉預り金 (謝礼金)		(27,782)	
納税充当金		70,000	
流動負債 計		70,000	

流動負債 計

169,634

負債の部 合計

169,634

正味財産

7,371,906

第15期(2014.7.1~2015.6.30.予算実績表

勘定科目名称	予算	実績	差額 (実績-予算)
《経常増減の部》			
【経常収益】			
【受取会費】			
運営会員受取会費	180,000	168,000	△ 12,000
一般会員受取会費	120,000	145,000	25,000
賛助会員受取会費	50,000	20,000	△ 30,000
受取会費 計	350,000	333,000	△ 17,000
【受取寄付金】			
受取寄付金	900,000	1,528,519	628,519
受取寄付金 計	900,000	1,528,519	628,519
【受取助成金等】			
受取助成金	1,000,000	1,657,271	657,271
受取助成金等 計	1,000,000	1,657,271	657,271
【事業収益】			
自主事業収益	800,000	694,114	△ 105,886
販売事業収益	80,000	365,381	285,381
受託事業収益	300,000	831,240	531,240
事業収益 計	1,180,000	1,890,735	710,735
【その他収益】			
受取 利息	0	980	980
雑 収 益	100,000	65,526	△ 34,474
その他収益 計	100,000	66,506	△ 33,494
経常収益 計	3,530,000	5,476,031	1,946,031
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
人件費計	0	0	0
(その他経費)			
【売上原価】			
業務委託費(事業)	600,000	1,368,023	768,023
諸 謝 金(事業)	750,000	1,379,837	629,837
印刷製本費(事業)	10,000	0	△ 10,000
会 議 費(事業)	5,000	0	△ 5,000
旅費交通費(事業)	50,000	0	△ 50,000
通信運搬費(事業)	10,000	17,580	7,580
消耗品 費(事業)	220,000	286,000	66,000
器具備品費(事業)	50,000	0	△ 50,000
修 繕 費(事業)	25,000	36,992	11,992
賃 借 料(事業)	120,000	0	△ 120,000
減価償却費(事業)	102,669	102,669	0
保 険 料(事業)	100,000	103,015	3,015
諸 会 費(事業)	5,000	0	△ 5,000
調査研究費(事業)	10,000	3,678	△ 6,322
支払手数料(事業)	20,000	4,198	△ 15,802
広告宣伝費(事業)	10,000	0	△ 10,000
販売仕入(事業)	50,000	315,889	265,889
雑 費(事業)	5,000	0	△ 5,000
その他経費計	2,142,669	3,617,881	1,475,212
事業費 計	2,142,669	3,617,881	1,475,212
【管理費】			
(人件費)			
人件費計	0	0	0
(その他経費)			
通信運搬費	120,000	81,188	△ 38,812
消耗品 費	30,000	32,400	2,400
水道光熱費	120,000	138,471	18,471
地代 家賃	972,000	972,700	700
接待交際費	5,000	0	△ 5,000
諸 会 費	10,000	18,400	8,400
慶 弔 費	0	21,600	21,600
租税 公課	5,000	189	△ 4,811
支払手数料	50,000	30,330	△ 19,670
支払寄付金	0	500	500
雑 費	5,000	578	△ 4,422
その他経費計	1,317,000	1,296,356	△ 20,644
管理費 計	1,317,000	1,296,356	△ 20,644
経常費用 計	3,459,669	4,914,237	1,454,568
当期経常増減額	70,331	561,794	491,463
《経常外増減の部》			
【経常外収益】			
経常外収益 計	0	0	0
【経常外費用】			
経常外費用 計	0	0	0
《正味財産増減の部》			
税引前当期正味財産増減額	70,331	561,794	491,463
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期正味財産増減額	331	491,794	491,463

監査報告書

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所
理事長 松村正治 殿

第15期事業年度（2014年7月1日から2015年6月30日まで）の事業報告、活動計算書、貸借対照表、財産目録を監査した結果、法令や定款に則して適切に処理、記載されていることを認める。

以 上

2015年 8月 7日

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所

監事

平石真司



第3号議案 第16期事業計画（2015年7月～2016年6月）

第16期は、自主事業の定例活動を着実に実施し、新たな人材が活躍する場を設け、活動の展開を図っていく。助成金収入のある「NORAの山仕事」「もったいないから竹細工」「里山保全ボランティアの若手リーダー育成」などでは、この間に自立した事業へと展開を図るか、行政との協働を進めるなどして、次のフェーズへと移行するための準備を進める。「はまどま」プロジェクトでは、「NORAの部活動」などを実施しながら新機軸を打ち出し、場の持っている可能性を引き出すことで、財政的に自立できる運営を目指していく。また、2015年8月中旬にウェブサイトのリニューアルするので、これを契機として広報媒体の使い分けや発信体制を整備していく。

一方、横浜市内の里山保全活動において、行政とNPO等の市民団体の関係性が制度化とともに枠づけられてきている。このために、市民側の創意工夫が発揮できない側面があるので、市内の団体と連携を図りながら、政策提言をおこなっていききたい。さらに、2017年に予定されている都市緑化フェアについても、谷戸を埋め立てる現在の計画には問題が大きいことから、NORAとしてもアクションを起こしていく。

全体として、事業運営に関わる中心的なメンバーが固定化してきているので、従来の枠組みにとらわれない発想で積極的に会員・参加者を巻き込みながら、会員の拡大に向けた努力を継続していく。

自主事業

1. ヤマ事業

- 1) NORAの山仕事 {別紙計画書のとおり}

- 2) 竹を活かす山仕事 {別紙計画書のとおり}

- 3) 里山保全ボランティアの若手リーダー育成 {別紙計画書のとおり}

- 4) よこはま里山レンジャーズ {別紙計画書のとおり}

- 5) 山道具の安全使用 {別紙計画書のとおり}

2. ノラ事業

- 1) 森と畑と音楽と {別紙計画書のとおり}

3. ムラ事業

- 1) はまどまプロジェクト
 - (1) NORA野菜市 {別紙計画書のとおり}
 - (2) 神奈川野菜の食事会 {別紙計画書のとおり}
 - (3) もったいないから竹細工 {別紙計画書のとおり}
 - (4) はまどまで土間仕事 {別紙計画書のとおり}
 - (5) NORAサロン

原則、隔月で話題提供者を招き、食事を取りながら、気軽に学ぶ機会を提供する。

- (6) はまどま劇場 {別紙計画書のとおり}
- (7) NORAの部活 {別紙計画書のとおり}

- ・内倉和子さんの薬膳おさらい会
- ・山本美香さんの季節の素材でスイーツづくり

4. ハレ事業

1) 伊勢佐木町地モノ市

2015 年秋、伊勢佐木町商店街のエコイベントに参加するかたちで「地モノ市」を開催する。

2) まいたエコサロンの会

まいたエコサロンの会の一員として、適宜、ネットワーク活動に協力する。

5. イキモノ事業

1) 旬の里山探訪 {別紙計画書のとおり}

2) トンボはどこまで飛ぶかフォーラム

フォーラムの一員として、森里川海との連携を図り、生物多様性の保全に繋がる活動をおこなう。

6. 広報事業

1) ウェブサイトの更新

8 月にドメインを移行し、ウェブサイトをリニューアルする。

twitter・facebook との連携を進めるほか、ブログ記事・情報の更新頻度を上げ、より効果のある広報媒体を目指す。記事の掲載については、一部の会員に負担が集中しないよう役割分担を進める。

2) 「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」配信

ウェブサイトと連携しながら、月に 1 回以上定期的に配信して、効果的に情報を発信する。

3) ソーシャルメディアによる情報発信

twitter・facebook を利用して、柔軟に迅速に情報を発信する。

協働・受託事業

そのほか、適宜、社会のニーズに応じて協働・受託事業を進める。

委員・講師派遣

行政・NPO・大学等からの求めに応じて、里山保全や市民活動等に関する委員・講師を派遣する。
ボランティア体験、インターンシップの受入は、可能な限り引き受ける。

■NORA 第 16 期プロジェクト計画書(2015 年 7 月～2016 年 6 月)

プロジェクト名	NORA の山仕事		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	下山康博		
スタッフ	中林博志、大嶋邦佳		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「利用する森」をコンセプトにして、手入れによって豊かな森をつくる ・ 森の恵みを様々なかたちで利用して、森とかかわる暮らしを横浜で実践する 		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ● 第 15 期までに蓄積された間伐材を有効活用するために、製材や薪材への加工を促進させるとともに、風雨にさらされ朽ちさせないように保管を充実させる ● 和み系へのニーズから、森の中で憩える空間(作業しなくても森を楽しめる空間)づくりを行う 		
内容	常緑樹の除伐や下草刈、落葉樹苗の育苗から定植など、豊かな森づくりを目標に作業を行っている。除伐した材を有効活用するために、丸太を製材レスツールなどの木工品を製作したり、薪などにも利用している。		
日時	毎月第 2・第 4 日曜日 10:00～15:00		
場所	旭区下川井町 特別緑地保全地区		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	10:00 川井緑地に集合 ミーティングを行い作業内容、使用する道具を確認 10:30 現場にて作業開始 12:00 昼食 13:00 作業開始 15:00 作業終了 道具の整備、活動の振り返りと予定を確認 16:00 解散		
一般募集の有無	有：人数未定 (NORA メルマガ・HP などの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	有:グリーンボランティア保険加入料として @500 円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	林野庁交付金	816,000 円	作業支援・資材販売など (3 万円×12 か月)
	自主事業収入	40,000 円	
	繰越金	360,000 円	
	合 計	1,216,000 円	
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	グリーンボランティア保険	60,000 円	(@3,000 円×20 回程度)
	製材実技指導料		
	委託費	360,000 円	(3 万円×12 か月)
	資機材購入費	51,000 円	(ソーチェーンなど)
	消耗品費	45,000 円	(燃料・工具修理等)
	活動謝礼金	700,000 円	(10 人×2 回×7 か月)140 人×5 千円
	合 計	1,216,000 円	
収支見込額(a-b)	0 円		
備考(他団体との連携 等を適当に記入)			
作成年月日	2015 年 8 月 4 日	作成者名	下山康博

■NORA 第 16 期プロジェクト計画書(2015 年 7 月～2016 年 6 月)

プロジェクト名	里山保全ボランティアの若手リーダー育成		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	下山康博、島村雅英		
スタッフ	松村正治、吉武美保子、中林博志		
目的 (箇条書きで記入)	よこはま里山レンジャーズプロジェクトと連動しながら、地域の里山保全を中心的に担える若手リーダーの育成を目的とする。		
目標 (今期の具体的な目標を箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・里山保全を担う若者がリーダー育成講座を受講: 15 名 受講後の若手リーダーは、横浜などの都市近郊にある里山保全団体のなかで、ボランティアをリードしていくことにより、安全で楽しい保全活動を広めながら、高齢化が進む市民団体の世代交代を促す。 ・里山保全と世代交代をテーマとしたシンポジウムの参加者: 80 名 この問題を社会に伝え、行政の支援や民間の寄付などを呼び込む契機とする。 		
内容	1) 定例の里山保全活動におけるスキルアップ 2) ボランティアリーダーの育成講座(企画運営・安全管理) 次世代の里山保全活動を担うボランティアリーダーを育成するため、レンジャーズ経験者や川井緑地等での里山保全活動経験者を対象とし、BTCV プログラムを活用したリーダー研修を実施する。 3) 里山保全と世代交代をテーマにしたシンポジウムの開催 4) 報告書の作成		
日時			
場所	川井特別緑地保全地区(旭区下川井町)		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は実施日のスケジュール)	1) 定例の里山保全活動(川井緑地)にてスキルアップ 2) 2015 年 10 月 ボランティアリーダー育成講座開催(2日間) 3) 2016 年 1 月 里山保全と世代交代をテーマにしたシンポジウム開催		
一般募集の有無	有: レンジャーズ、川井緑地等関係者に講習会参加募集呼びかけ		
参加費の有無	有		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)	寄付金	500,000 円	株式会社かんぼ生命保険
	参加費	30,000 円	@2,000 円×15 人
	合計	530,000 円	
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)	講師謝金(交通費含む)	280,000 円	リーダー育成講座、シンポジウム
	物品購入費	140,000 円	チェーンソー・刈り払い機等
	消耗品費	30,000 円	
	賃借料	30,000 円	シンポジウム会場費
	印刷費	30,000 円	チラシ印刷
	合計	530,000 円	
収支見込額(a-b)	0 円		
備考(他団体との連携等を適当に記入)	寄付プログラムの事務は、公益社団法人日本フィランソロピー協会。 リーダー育成講座では、NPO 法人日本環境保全ボランティアネットワーク(JCVN)と連携		
作成年月日	2015 年 8 月 4 日	作成者名	島村雅英・下山康博

■NORA 第 16 期プロジェクト計画書(2015 年 7 月～2016 年 6 月)

プロジェクト名	よこはま里山レンジャーズ		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	島村雅英		
スタッフ (リーダーを除く)	松村正治、下山康博、吉武美保子、中林博志 認定 NPO 法人自然環境復元協会(連携団体)スタッフ		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・特に若者が里山保全活動に参加する。 ・プロジェクト実施の持続性を検討し、プロジェクトを実施する ・成果を普及する 		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト実施継続のための資金調達を確保する。 ・市民活動団体を対象としたレンジャーズ派遣を延べ 10 回程度実施する。 ・指定管理者等の事業者を対象としたレンジャーズ派遣を可能な限り実施する。 		
内容	<p>企業や指定管理者などからの活動資金提供を模索しながら、自然環境復元協会と連携して、レンジャーズ派遣をおこなう。</p> <p>作業内容は、基本的に下草刈り、間伐材の搬出、簡単な枝打ち、落ち葉かきなど軽作業を基本とし、チェーンソーによる伐採等危険が伴う作業はおこなわない。</p>		
日時	レンジャーズ派遣は、月 1 回程度		
場所	恩田の谷戸、カーリットの森、桜ヶ丘緑地、川井緑地、瀬上市民の森、新治、入船公園等		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	7 月～9 月:指定管理者等レンジャーズ派遣調整 7 月～6 月:レンジャーズ派遣		
一般募集の有無	NORA メルマガ・HP、自然環境復元協会からのレンジャーズ登録呼びかけ レンジャーズ登録メンバーに、活動情報提供		
参加費の有無	無料		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	指定管理者向けレンジャーズ派遣費 90,000 円 @30,000×3 回		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	レンジャーズデータベース使用料 45,000 円 謝金 45,000 円		
収支見込額(a-b)	0 円		
備考(他団体との連携 等を適当に記入)	NPO 法人自然環境復元協会と、レンジャーズ派遣を協働する		
作成年月日	2015 年 7 月 18 日	作成者名	島村雅英

■NORA 第 16 期プロジェクト計画書(2015 年 7 月～2016 年 6 月)

プロジェクト名	ヤマ道具の安全使用		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	中林 博志		
スタッフ (リーダーを除く)	下山康博、大嶋邦佳		
目的 (箇条書きで記入)	ヤマ仕事で使用するチェーンソーや部品等を安全に供給する		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	販売額 6万円 収益額 1万円		
内容	会員、関係者がヤマ道具を安全に使用できるように販売する。		
日時	通年		
場所			
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)			
一般募集の有無	無		
参加費の有無	無		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	販売金 6万円		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	仕入金 5万円		
収支見込額(a-b)	収益 1万円		
備考(他団体との連携 等を適当に記入)	15 期実績 販売額 280,281 円、仕入等額 245,009 円、粗利益 82,044 円、利益率 29%		
作成年月日	2015 年 7 月 20 日	作成者名	中林博志

■NORA 第 16 期プロジェクト計画書(2015 年 7 月～2016 年 6 月)

プロジェクト名	竹を活かす山仕事		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	下山康博		
スタッフ	宮原氏		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 畑や水源林である山々を侵食する竹林の手入れを行なう ・ 竹林整備を行なうことで、恵ある里山の生態系を維持する ・ 整備活動によって排出された竹材を有効活用する ・ 竹材を有効活用する事で都市部に暮らす人々に竹林整備の普及啓発活動へ繋げる 		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業への継続的な参加者を募る ・ 事業の運営を共に担うスタッフを募る ・ 他団体が実施するイベントへ積極的に参加し、事業への協力者を募る 		
内容	南足柄郡中井町にある竹林において、竹の間伐作業を行う。 切り出した竹は、竹ひご作りの練習用に用いたり、ミニ灯籠を製作する材料として活用する。 ※8月～9月の間は、伐り出し作業は無し		
日時	毎月第 1 日曜日 10:00～15:00		
場所	南足柄郡中井町		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	9:00 京浜急行 上大岡駅集合(9:45 二の宮駅) 10:00 現地到着 作業開始 12:00 昼休み 13:00 作業再開 14:00 作業終了 材の積み込み 15:00 現地解散		
一般募集の有無	有：人数未定 (NORA メルマガ・HP などの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	有：@500 円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	参加費 500 円×3×10 回 15,500 円 もったいないから竹細工収支見込 24,500 円 市民事業補助金 1 158,000 円 計 198,000 円		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	物品費 69,000 円 旅費交通費 21,000 保険料 3,000 円 報償謝礼費 100,000 円 事務費 5,000 円 計 198,000 円	助成金(8割) 55,200 円 16,800 円 2,000 円 80,000 円 4,000 円 計 158,000 円	自己負担金(2割) 13,800 円 4,200 円 1,000 円 20,000 円 1,000 円 計 40,000 円
収支見込額(a-b)	0 円		
備考(他団体との連携 等を適当に記入)			
作成年月日	2015 年 7 月 20 日	作成者名	下山康博

■NORA 第 16 期プロジェクト計画書(2015 年 7 月～2016 年 6 月)

プロジェクト名	森と畑と音楽と		
カテゴリー	ノラ		
リーダー	中川櫛		
スタッフ			
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休耕農地を利用して地域環境や農地を維持し、常時作付けできるよう土地を管理する ・ 参加者が一連の農作業を体験することで、野菜を育て収穫する喜びを体感する ・ 山仕事で出てくる木材の保管および製材・加工場所として活用する 		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続的に関われるメンバーを増やす ・ 事業への協賛者を増やす ・ メンバーのスキルアップを図る 		
内容	農地管理(草刈り・草取り・耕運)／野菜の育成(作付け・施肥・防虫管理・収穫) 収穫体験の実施／活動場所で採れた野菜を使った料理／林産物の活用 子ども向け環境教育の実施／音楽会の実施		
日時	基本的に毎週末(土曜・日曜のいずれかまたは両日) 10:00～17:00 (不定期:要連絡)		
場所	厚木市七沢		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	7 月 収穫作業 草刈り 種まき(ニンジン・キャベツ・ブロッコリー) 7 月～8 月 子ども自然体験プログラム 8 月 収穫 草刈り 畝作り 種まき(カブ・大根・白菜) 種植え(ジャガイモ) 9 月中旬 結婚式@森と畑と音楽と 9 月 草取り 定植(キャベツ・ブロッコリー) 種まき(白菜・大根・カブ／小松菜・春菊) 10 月 草刈り草取り 収穫作業 11 月中旬 収穫祭・音楽会 11～1 月 収穫作業・竹の整備及び利用 2～3 月 耕運・木工(カトラリー作り) 4 月 種まき(トマト・きゅうり・茄子・ピーマン) 草刈り 耕運 施肥 5 月 定植(トマト・きゅうり・茄子・ピーマン) 種まき(枝豆・カボチャ等) 草刈り・畝作り 5 月初旬 年度初めのお披露目会(BBQ) 6 月 種まき(オクラ・モロヘイヤ) 苗植え(サツマイモ) 草刈り		
一般募集の有無	有：人数未定 (NORA メルマガ・HP などの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	有：参加プログラムによる		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	年会費@5,000×8 人 40,000 円 参加費@1,000×50 人・回 50,000 円 施設使用料(結婚式)@20,000×1 回 20,000 円 計 110,000 円		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	種苗購入費 20,000 円 肥料購入費 5,000 円 資材購入費 20,000 円 借地料 20,000 円 電気代 20,000 円 燃料代(ガソリン・オイル等) 15,000 円 その他雑費 10,000 円 計 110,000 円		
収支見込額(a-b)	0 円		
備考(他団体との連携 等を適当に記入)			
作成年月日	2015 年 7 月 20 日	作成者名	中川櫛

■NORA/第 16 期プロジェクト計画書(2015 年 7 月～2016 年 6 月)

プロジェクト名	NORA 野菜市		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	三好豊		
スタッフ (リーダーを除く)	有志ボランティア・ジョブトレーニング・インターシップの方々など、楽しい野菜市、明るい野菜市で地域の皆さんに役に立つ場づくりをこころがけたい。		
目的 (箇条書きで記入)	「神奈川・緑の劇場」の取組みを支援し、連帯する活動。「地産地消」の日常的な実践の場。NORA の活動を広く知らせ、仲間を募る場		
目標 (今期の具体的な目標を箇条書きで記入)	特に 16 期でこころがけたいこと。 価格の安さの追求と楽しい品揃えでお客様の拡大をはかりたい。 情報発信と「記録」		
内容	都市生活と、生産者・農業とのつながりが強く感じられ、都市での暮らし方を見直すきっかけの場として活かすように、農産物を紹介・提供したい。		
日時	毎週火曜日 17～19 時		
場所	横浜市南区宿町 2-40 大和ビル駐車場		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は実施日のスケジュール)			
一般募集の有無			
参加費の有無			
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)			
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)			
収支見込額(a-b)			
備考 (他団体との連携等を適当に記入)			
作成年月日	2015 年 8 月 2 日	作成者名	三好豊

■NORA/第 16 期プロジェクト計画書(2015 年 7 月～2016 年 6 月)

プロジェクト名	神奈川県野菜の食事会		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	三好豊		
スタッフ (リーダーを除く)	15 期からの改革を 16 期では、さらに明確にしたい。 企画立案・準備から本番までの各種役割分担・その間の記録・情報発信まで多くの皆さんの参加を求めます。		
目的 (箇条書きで記入)	「地産地消」のもつ意味の多様性・奥深さを話し合い暮らしに定着させていきたい。 日本各地の多様な農産物を次世代に引き継ぐ活動と連帯する。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	食事会は 100 回の節目を迎えます。TPP 交渉に見られる、各国の自然条件、食文化、食料主権を無視した経済行為一辺倒の潮流に対して、「命を大切に暮らし方」「里山に学び、里山を暮らしに活かす」考え方を深めていく一年でありたいと思います。		
内容	日常の暮らしへの定着をはかる野菜市・直接生産者と農業の場を体験する「体験企画」・そして、季節ごとの神奈川県産物の魅力を味わい語り合う食事会・三本の活動を軸にする原点を明確にする一年にしていきたい。		
日時	不定期開催・土曜・日曜・月曜のいずれの開催になります。		
場所	「はまどま」		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	第 100 回神奈川県野菜の食事会は、2016 年 1 月 30 日・土曜日開催 テーマを決めて持ち寄り形式・遠方の方など参加できない方からのメッセージを募集・		
一般募集の有無			
参加費の有無			
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
収支見込額(a-b)			
備考 (他団体との連携等を適 当に記入)			
作成年月日	2015 年 8 月 2 日	作成者名	三好豊

■NORA 第 16 期プロジェクト計画書(2015 年 7 月～2016 年 6 月)

プロジェクト名	もったいないから竹細工		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	下山康博		
スタッフ (リーダーを除く)	講師:中元氏(日本の竹ファンクラブ) アシスタント:運営メンバー山口氏		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 竹林整備で排出された竹材を有効活用する ・ 竹材から竹ひごを製作し、竹籠などの竹細工を作る ・ 竹細工の技術を身近に感じてもらい、ものづくりの楽しさを体験する 		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規を含めた参加者の継続的な関わりを推奨する ・ 参加者のスキルアップ ・ 竹から竹ひご作りなど、参加者が材を作れるように促す 		
内容	<p>毎月第 2 土曜日、日本の竹ファンクラブの中元氏を講師に招き、竹細工講習会を実施。参加者が作る作品は、一回の講習会で仕上がるものから、3 回程度にわたり時間を掛けて製作するものまで多岐にわたる。作った作品は、参加者がそれぞれに持ち帰る。7 作品(全 12 回)にて一区切りをつけ、工房作業への参加を促す</p> <p>毎月第 4 土曜日、竹ひご作りの練習や竹かご製作、カトラリーづくりなど WS を行う</p>		
日時	毎月第 2 土曜日(竹かご教室) 第 4 土曜日(工房作業) 13:00～16:00		
場所	はまどま		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)			
一般募集の有無	有:定員 10 名(NORA メルマガ・HP などの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	有:@2,000 円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	参加費 240,000 円(@2,000×10 名×12 ヶ月) 補助金 744,000 円(神奈川県水源環境保全・再生市民事業支援補助金) 計 984,000 円		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	物品費 224,000 円 旅費交通費 11,000 円 使用料及び賃借料 170,000 円 報償・謝礼費 516,000 円 事務費 10,000 円 小計 931,000 円 交際費 28,500 円 雑費 24,500 円 合計 984,000 円	179,200 円 8,800 円 136,000 円 412,000 円 8,000 円 744,000 円 助成金(8 割)	44,800 円 2,200 円 34,000 円 104,000 円 2,000 円 187,000 円 自己負担金(2 割)
収支見込額(a-b)	0 円		
備考(他団体との連携 等を適当に記入)			
作成年月日	2015 年 7 月 20 日	作成者名	下山康博

■NORA/第 16 期プロジェクト計画書(2015 年 7 月～2016 年 6 月)

プロジェクト名	はまどま劇場		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	三好豊		
スタッフ (リーダーを除く)	企画内容ごとにスタッフを募ります。		
目的 (箇条書きで記入)	「はまどま」の可能性を広げる取組みとして、朗読会・紙芝居・お話し会などを企画。また、映像・音楽など「劇場」機能を活かしていく。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	「はまどまシアター」として、郷土映像ラボラトリーとの共催企画・定期上映会の実現。 「民話」の語り。「絵本」の読み聞かせ。紙芝居など、新メンバーによる練習会・発表会。 郷静子作「れくいえむ」の朗読会。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日本で長い年月をかけて受け継がれてきた暮らしの記録映像 ・横浜・神奈川の民話の語りなど、新たなメンバーを加えて練習会の開催から。 ・戦争につながる道は、絶たねばなりません。横浜の 70 年前です。 		
日時	不定期		
場所	はまどま		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)			
一般募集の有無			
参加費の有無			
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
収支見込額(a-b)			
備考 (他団体との連携等を適 当に記入)			
作成年月日	2015 年 8 月 2 日	作成者名	三好豊

■NORA/第 16 期プロジェクト計画書(2015 年 7 月～2016 年 6 月)

プロジェクト名	はまどまで土間仕事		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	勝野真美		
スタッフ (リーダーを除く)	三好豊		
目的 (箇条書きで記入)	季節の・身近な保存食を手作りで作ろう…らっきょうや梅など、神奈川県内産の貴重な果菜を紹介しながら、自分の手の味を極める。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	一番の目標は自分の味を作ることだが、神奈川県にもこんなに多彩な果菜があることを知ってもらおうこと。		
内容	季節の味の手仕事を、旬を逃さずに作る。		
日時	季節に合わせて		
場所	はまどま		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	10:00 作業開始 12:00 作業終了、後片付けのあとお茶しながら講評 ※ランチ付の日もあり		
一般募集の有無	あり…NORA のメルマガ、HP、はまどま回覧板などで一般告知		
参加費の有無	使用する果菜によって異なる。平均して 3,000 円。		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	1人あたり 3,000 円		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	材料費 2,000 円/人 消耗品等 500 円/人 はまどま協力金 500 円/人		
収支見込額(a-b)	1,000 円 ※一人あたり 500 円をはまどまへ		
備考 (他団体との連携等を適 当に記入)			
作成年月日	2015 年 7 月 20 日	作成者名	勝野真美

■NORA/第 16 期プロジェクト計画書(2015 年 7 月～2016 年 6 月)

プロジェクト名	NORA の部活動「内倉和子さんの薬膳おさらい会」		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	内倉和子		
スタッフ (リーダーを除く)	勝野真美・三好豊		
目的 (箇条書きで記入)	「はまどま」を始め、NORA と関わったみなさんの発意によって「はまどま」での企画を作成します		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	早めの企画作りで参加者を募る		
内容	内倉和子さんが通う「薬膳教室」の翌週に企画し、季節も合わせ「おさらい会」として行います。		
日時	原則第4日曜日 15:00～18:00		
場所	南区宿町 2-40 大和ビル 119 号 「はまどま」		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)			
一般募集の有無			
参加費の有無			
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
収支見込額(a-b)			
備考 (他団体との連携等を適 当に記入)			
作成年月日	2015 年 7 月 21 日	作成者名	三好 豊

■NORA/第 16 期プロジェクト計画書(2015 年 7 月～2016 年 6 月)

プロジェクト名	NORA の部活動「山本美香さんの季節の素材でスイーツづくり&軽夕食付」		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	山本美香		
スタッフ (リーダーを除く)	勝野真美・三好豊		
目的 (箇条書きで記入)	「はまどま」をはじめ NORA と関わった皆さんの発意により「はまどま企画」をつくります。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	当面は、NORA 野菜市と同時開催することで、「はまどま」と野菜市の駐車場と連動したにぎわいを創出したいと企画しています。野菜市の農産物を素材に活かしたスイーツづくりです。参加者を定員いっぱいになるように(7名)		
内容	山本美香さんのスイーツづくりデモンストレーション・スイーツバイキング企画も。		
日時	二か月に一回程度。火曜日夕方～		
場所	「はまどま」		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)			
一般募集の有無			
参加費の有無			
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
収支見込額(a-b)			
備考 (他団体との連携等を適 当に記入)			
作成年月日	2015 年 8 月 2 日	作成者名	三好豊

■NORA/第 16 期プロジェクト計画書(2015 年 7 月～2016 年 6 月)

プロジェクト名	旬の里山探訪		
カテゴリー	イキモノ		
リーダー	吉武美保子		
スタッフ (リーダーを除く)	新治里山公園運営プロジェクトのメンバー (新治里山「わ」を広げる会への協力)		
目的 (箇条書きで記入)	新治の自然の魅力をその折々に伝えることで、大切に思う仲間を増やすこと。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなメンバーが加わって、スタッフとして対応できるようになること。 ・ガイドの幅や深みが増すように研修を行う。 		
内容	午前中 2 時間程度のルートで、テーマに沿った解説を行いながら、散策する。 スタッフは 2 名。		
日時	毎月第 1 水曜。 午前 10 時～12 時		
場所	にいはる里山交流センター集合		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	< 上記参照 > 8 月、1 月はお休み		
一般募集の有無	あり		
参加費の有無	200 円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	にいはる里山交流センター事業への協力のため、NORA への収入はなし。		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
収支見込額(a-b)			
備考 (他団体との連携等を適 当に記入)	新治里山「わ」を広げる会／新治里山公園運営プロジェクトへの協力		
作成年月日	2015 年 7 月 20 日	作成者名	吉武美保子

第4号議案 第16期（2015年7月～2016年6月）予算

[収入]

科目	第14期決算額	第15期予算額	第15期決算額	第16期予算額	備考
会費	272,000	350,000	333,000	350,000	運営会員@12,000*15+一般会員@3,000*40+賛助会員@10,000*5
自主事業	771,944	800,000	694,114	700,000	はまどま600千円（野菜市300千円）、各事業参加費等
販売収入	122,599	80,000	365,381	60,000	チェーンソー関連消耗品販売60千円
受託	752,500	300,000	831,240	400,000	行政からの事業受託、間伐・製材支援40千円
助成金	668,000	1,000,000	1,657,271	1,718,000	神奈川県902千円、林野庁816千円（未定）
寄付金	325,279	900,000	1,528,519	1,770,000	かんほ500千円、フルテン250千円、エコアップ研420千円、個人寄付
雑収入	147,509	100,000	66,506	80,000	講師謝金等
当期収入合計 (A)	3,059,831	3,530,000	5,476,031	5,078,000	

[支出]

科目	第14期決算額	第15期予算額	第15期決算額	第16期予算額	備考	
事業人件費	給料手当	0	0	0	主任研究員給料	
	臨時雇賃金	0	0	0		
	福利厚生費	0	0	0		
	法定福利費	0	0	0	社会保険料、労災保険料	
事業経費	事業委託費	878,755	600,000	1,368,023	1,450,000	受託事業外注費、サイト設計300千円
	諸謝金	150,232	750,000	1,379,837	1,400,000	山仕事謝金700千円、講座講師謝礼、竹細工講師謝礼、会計入力
	印刷製本費	18,107	10,000	0	30,000	報告書印刷、コピー代
	旅費交通費	119,300	50,000	0	60,000	講師旅費
	通信運搬費	7,115	10,000	17,580	15,000	電話、IT、郵送料、宅急便、備品送料
	消耗品費	158,841	220,000	286,000	300,000	チェーンソー等ヤマ道具、工具
	器具備品費	502,140	50,000	0	50,000	
	修繕費	44,701	25,000	36,992	40,000	
	賃借料	0	120,000	0	30,000	会場借上
	減価償却費	149,446	102,669	102,669	70,534	簡易製材機
	保険料	92,366	100,000	103,015	100,000	グリーンボランティア保険60千円、イベント保険36千円
	諸会費	0	5,000	0	5,000	町内会費、ネットワーク団体会費
	調査研究費	7,200	10,000	3,678	10,000	資料購入、研修会参加
	支払手数料	25,808	20,000	4,198	5,000	
	広告宣伝費	0	10,000	0	10,000	
	会議費	0	5,000	0	5,000	会議室料、茶代等
	販売仕入	121,541	50,000	315,889	50,000	
雑費	2,241	5,000	0	50,000		
管理費	通信運搬費	116,070	120,000	81,188	100,000	
	消耗品費	5,623	30,000	32,400	35,000	会計ソフト等
	水道光熱費	104,487	120,000	138,471	140,000	
	地代家賃	951,750	972,000	972,700	972,000	家賃@81,000*12
	諸会費	15,400	10,000	18,400	20,000	
	租税公課	196	5,000	189	5,000	
	支払手数料	59,785	50,000	30,830	40,000	ネットバンキング25千円、振込手数料
	交際費	0	5,000	21,600	10,000	
雑費	300	5,000	578	5,000		
経常外	固定資産除却損	0	0	0	0	
	法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	70,000	70,000	
	当期支出合計 (B)	3,601,404	3,529,669	4,984,237	5,077,534	
当期収支差額 (A)-(B)	-541,573	331	491,794	466		

第5号議案 役員選任

前役員から全ての理事・監事が再任するほか、政策提案など理事会としての機能を高めるために、NORAの設立者で主任研究員の吉武美保子氏を理事として加えたい。

これにともない、役員構成は下表のとおりとなる。なお、役員任期は2年である。

理事	石田 周一	社会福祉法人同愛会
理事	島村 雅英	横浜エコアップ研究所
理事	中川 櫛	中学校理科教員
理事	中林 博志	社会福祉法人あおぞら 理事
理事	松村 正治	恵泉女学園大学 教員
理事	三好 豊	神奈川・緑の劇場 代表
理事	吉武 美保子	新治里山「わ」を広げる会 [新任]
監事	平石 真司	特定非営利活動法人 日本の竹ファンクラブ 理事長